

大会情報・プログラム

大会会場

一橋大学 国立キャンパス 東キャンパス



◆交通手段

JR 中央線 国立駅 下車南口 徒歩約 6 分

JR 南武線 谷保駅 下車北口 徒歩約 20 分

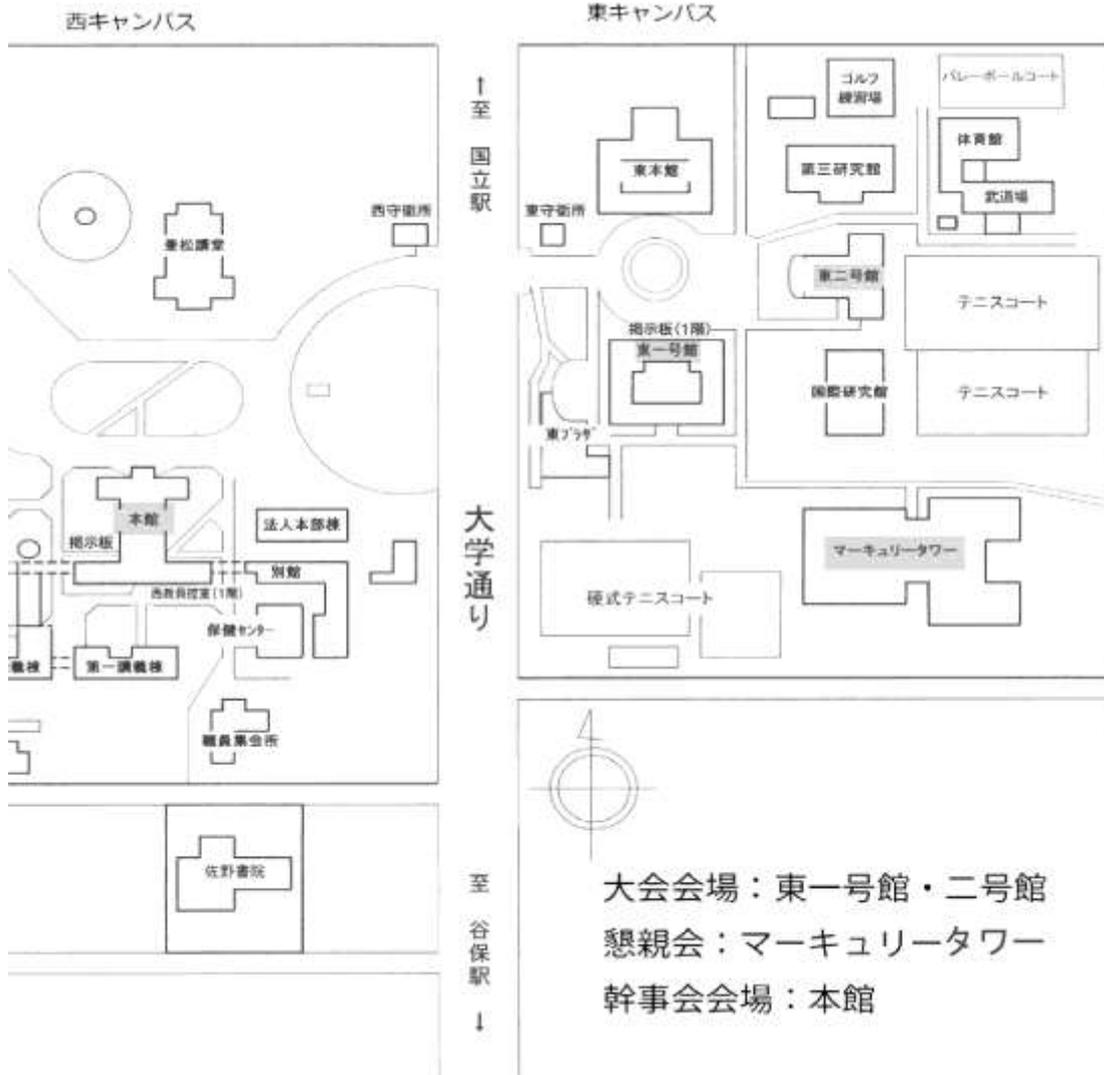
国立駅行 一橋大学下車 バス約 6 分

◆大会連絡先

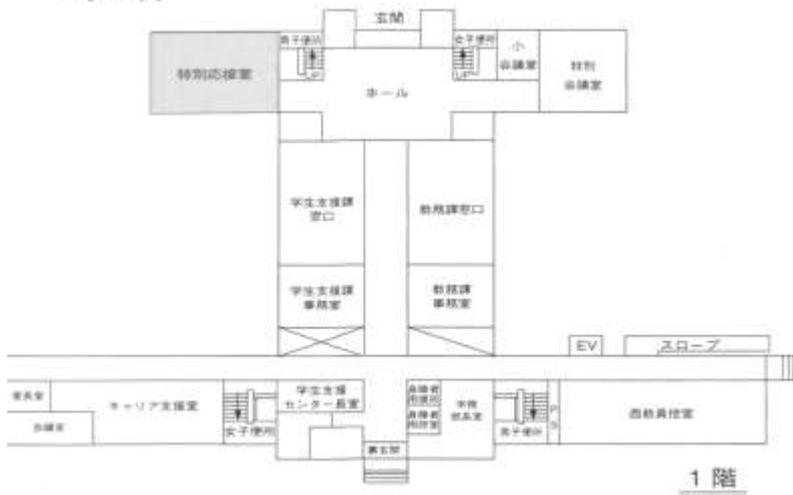
〒186-8601 東京都国立市中2-1 一橋大学社会学研究科 平子研究室内
社会思想史学会 一橋大学大会実行委員会

Tel : 042-580-8282

一橋大学 国立キャンパスマップ



本館



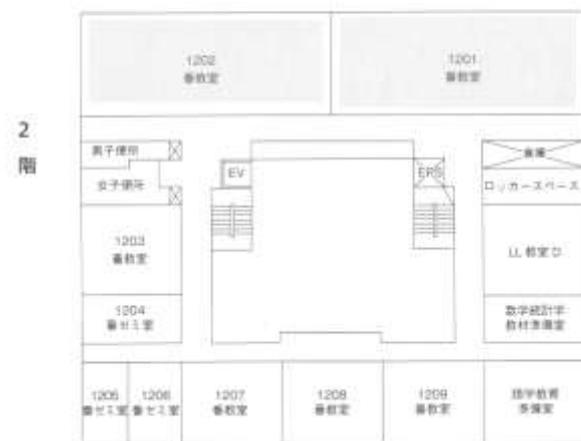
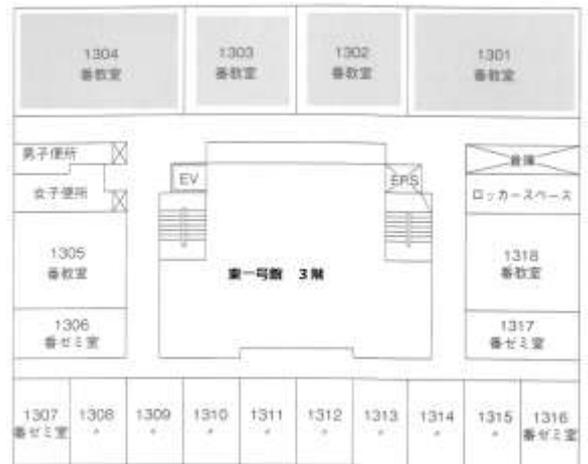
← 幹事会会場
西キャンパス本館
特別応接室

東二号館



2F シンポジウム・総会会場
2001

東一号館



1F 会員控室 1101
 2F 【第1会場】1201 【第2会場】1202
 3F 【第3会場】1301 【第4会場】1304
 【第5会場】1302 【第6会場】1303

教室利用表

	東二号館 2201	【第1会場】 東一号館 1201	【第2会場】 東一号館 1202	【第3会場】 東一号館 1301	【第4会場】 東一号館 1304	【第5会場】 東一号館 1302	【第6会場】 東一号館 1303
27日(土)							
09:00-11:00 [セッション]		A「人間」概念の変容と生命倫理	B 各国、各時代比較による近代社会思想史記述の試み	C 自由主義思想の射程	D19世紀フランスにおける「文学的なもの」と社会		
11:10-11:55 [自由論題]		庄司武史 (中野)	田中啓太 (深貝)	網谷壮介 (木村)	大井赤亥 (楮沢)	坂井礼文 (大竹)	山岡健次郎 (矢野)
13:00-15:00 [セッション]		E 戦後思想再考	F18・9世紀ドイツの社会経済思想	G ヒュームとスマス	H 政治哲学の現在		
15:10-18:10 [シンポジウム]	第一次世界大戦前夜の思想						
18:10-18:50	総会						
28日(日)							
09:00-09:45 [自由論題]		比嘉徹徳 (崎山)	箱田徹 (鳴子)	平田一郎 (齋藤)	荒井智行 (篠原)	横山尊 (高草木)	
10:00-10:45 [自由論題]		寺尾範野 (姫野)	新村聡 (梅田)	廣瀬陽一 (梅森)	種田佳紀 (田中)	太田悠介 (佐藤)	羅太順 (荒川)
11:00-11:45 [自由論題]		安岡直 (太田)	赤羽悠 (田中)	橋本直人 (細見)	川脇慎也 (壽里)	平田周 (斉藤)	
13:00-15:00 [セッション]		I モイシェ・ポستن理論によるマルクス新解釈の可能性	J 承認論の現在	K グローバルヒストリーと思想史の位置	L アメリカ政治思想の再検討		
15:10-17:10 [セッション]		M マルクス主義の展開	N「一般意志」再考	Oドイツ社会国家をめぐる諸思想	P 野蛮と啓蒙		

*会員控え室： 東一号館 1101

- ◆10月26日(金) 17:00- 幹事会 (西キャンパス・本館 特別応接室)
- ◆10月27日(土) 19:00- 懇親会
(東キャンパス・マーキュリータワー マーキュリーホール)

2012年度 社会思想史学会総会

1. 議長選出

2. 報告事項

- (1) 会員の異動について
- (2) 会費納入状況について
- (3) 第36回および第37回大会について
- (4) 本年度および次年度以降の『社会思想史研究』について
- (5) その他

3. 審議事項

- (1) 2010年度決算および会計監査報告
- (2) 2011年度予算
- (3) その他

4. 奨励賞表彰

10月26日(金) 17:00~19:00 幹事会 西キャンパス 本館 特別応接室

10月27日(土) 9:00~ 東一号館・二号館

東二号館 2F 【シンポジウム・総会会場】2201

東一号館 2F 【第1会場】1201 【第2会場】1202

3F 【第3会場】1301 【第4会場】1304 【第5会場】1302 【第6会場】1303

-----9:00~11:00 セッション-----

A 「人間」概念の変容と生命倫理 【第1会場】

世話人(司会): 高草木光一(慶應義塾大学経済学部)

報告者: 松澤和正(千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科)

討論者: 佐藤純一(元高知大学医学部)、鈴木勝己(早稲田大学人間科学学術院)

B 各国、各時代比較による近代社会思想史記述の試み 【第2会場】
——オイコノミア、エコノミー、そして経済——概念と知の類型

世話人: 長尾伸一(名古屋大学)

報告者: 深貝保則(横浜国立大学)

討論者: 隠岐さや香(広島大学)

C 自由主義思想の射程 【第3会場】

世話人: 森岡邦泰(大阪商業大学)

司会: 太子堂正称(東洋大学)

報告者: 安藤裕介(立教大学)、林直樹(京都大学経済学研究科非常勤講師)

討論者: 森岡邦泰(大阪商業大学)

D 19世紀フランスにおける「文学的なもの」と社会 【第4会場】
——ポール・ベニシュ『作家の聖別』『預言者の時代』翻訳出版を機に

司会: 片岡大右(東京大学研究員)

報告者: 古城毅(立正大学非常勤講師)

世話人・討論者: 三宅芳夫(千葉大学准教授)

-----11:10~11:55 自由論題報告-----

清水幾太郎の環境観とジョン・デューイ—環境のなかの人間をめぐって 【第1会場】

報告者: 庄司武史(早稲田大学社会科学総合学術院 助手)

司会: 中野敏男(東京外国語大学)

L. ロビンの経済学方法論にみる人間観 【第2会場】

報告者: 田中啓太(名古屋大学大学院経済学研究科 特別研究員)

司会: 深貝保則(横浜国立大学)

カントの歴史哲学における自然概念と啓蒙の戦略 【第3会場】

報告者: 網谷壮介(東京大学大学院総合文化研究科)

司会：木村周市朗（成城大学経済学部）

H・ラスキにおける国家論の変容と「同意革命論」—「社会民主主義」の国家論再考 【第4会場】

報告者：大井赤亥（東京大学大学院総合文化研究科 博士課程）

司会：楢沢栄一（埼玉女子短期大学）

取得から贈与へ——経済学的観点から見たコジェーヴとシュミットの論争 【第5会場】

報告者：坂井礼文（京都大学 博士課程）

司会：大竹弘二（南山大学）

a right to have rights ——移動の政治に隠された特権 【第6会場】

報告者：山岡健次郎（香川高等専門学校 一般教育科 講師）

司会：矢野久美子（フェリス女学院大学）

-----13：00～15：00 セッション-----

E 戦後思想再考——戦後日本のアカデミック・ディスコースにおける西欧志向という問題 【第1会場】

世話人：中野敏男（東京外国語大学）

報告者：三島憲一（東京経済大学）、初見基（日本大学）

討論者：川本隆史（東京大学）

F 18・9世紀ドイツの社会経済思想——19世紀ドイツにおける国家・社会・労働 【第2会場】

世話人：原田哲史（関西学院大学）・大塚雄太（名古屋大学）

報告者：金子光男（明治大学）・高岡佑介（早稲田大学）

討論者：遠藤泰弘（松山大学）

G ヒュームとスミス（スコットランド啓蒙思想研究） 【第3会場】

世話人：篠原久（関西学院大学経済学部）

報告者：篠原久、前田俊文（久留米大学法学部）

討論者：只腰親和（横浜市立大学国際総合科学部）

H 政治哲学の現在 【第4会場】

世話人（司会）：小田川大典（岡山大学）

報告：田畑真一（早稲田大学）、小林淑憲（北海学園大学）

討論：小田川大典（岡山大学）

-----15：10～18：10 シンポジウム 東二号館 2201-----

第一次世界大戦前夜の思想——20世紀思想史の水脈

報告：山室信一（京都大学）

「世界」性と「近・現代」性の踊り場

—第0次世界大戦の「戦後」と第1次大戦の「前夜」における東アジア—

徳永 恂

「第一次世界大戦—その前史と後史」

西谷 修 (東京外国語大学)

「近代の臨界—ナショナリズムとモダニズムの呼応と相克をめぐって」

司会：崎山政毅 (立命館大学)・上野成利 (神戸大学)

18:10~18:50 総会 東二号館 2201

19:00~ 懇親会 マーキュリータワー マーキュリーホール

10月28日(日) 9:00~ 東一号館

-----9:00~9:45 自由論題報告-----

イムレ・ヘルマンの「しがみつき欲動」について—1930年代における精神分析の転回

【第1会場】

報告者：比嘉徹徳 (一橋大学)

司会：崎山政毅 (立命館大学)

パレーシアの倫理的政治：一九八〇年代フーコーの問題設定を探る

【第2会場】

報告者：箱田徹 (立命館大学ポストドクトラルフェロー)

司会：鳴子博子 (岐阜聖徳学園大学)

ローティのリベラリズム

【第3会場】

報告者：平田一郎 (関西外国語大学短期大学部)

司会：齋藤純一 (早稲田大学)

スコットランド啓蒙末期における教育論の展開——スミスからD. スチュアートへ

【第4会場】

報告者：荒井智行 (中央大学経済学部助教)

司会：篠原久 (関西学院大学経済学部)

1970-80年代における優生保護法改正論議の再検討—日本母性保護医協会の動向から

【第5会場】

報告者：横山尊 (九州大学大学文書館百年史学編集室テクニカルスタッフ)

司会：高草木光一 (慶應義塾大学経済学部)

-----10:00~10:45 自由論題報告-----

初期イギリス社会学における「社会進化」と「シティズンシップ」

—レオナード・ホブハウスの社会思想を中心に

【第1会場】

報告者：寺尾範野 (カーディフ大学欧州言語・翻訳・政治学研究科 博士課程)

司会：姫野順一 (長崎大学)

トマス・ホップズにおける近代的平等論の成立——アリストテレス批判から黄金律へ 【第2会場】

報告者：新村聡（岡山大学）
司会：梅田百合香（桃山学院大学）

転向論の死角はどこにあるか——金達寿「朴達の裁判」を手がかりに 【第3会場】

報告者：廣瀬陽一（大阪府立大学大学院人間社会学研究科 博士課程後期）
司会：梅森直之（早稲田大学）

ポーコックにおける政治の観念と政治言説——方法論争を越えて 【第4会場】

報告者：種田佳紀（京都精華大学 助手）
司会：田中秀夫（京都大学）

エティエンヌ・バリバルの大衆論——マルクス主義と政治哲学の対話 【第5会場】

報告者：太田悠介（東京外国語大学大学院 博士後期課程）
司会：佐藤嘉幸（筑波大学）

マックス・ヴェーバーの官僚制論——官僚制は必要なのか 【第6会場】

報告者：羅太順（京都大学大学院）
司会：荒川敏彦（千葉商科大学）

-----11：00～11：45 自由論題報告-----

ルカーチとレーニン——ボルシェヴィズム革命の理想と現実—— 【第1会場】

報告者：安岡直（秀明大学）
司会：太田仁樹（岡山大学）

「模倣」とデモクラシー社会

—19世紀フランス政治・社会思想の中のガブリエル・タルド— 【第2会場】

報告者：赤羽悠（東京大学大学院総合文化研究科 博士課程）
司会：田中拓道（一橋大学）

エドワード・サイードのアポリアとその克服

——「アドルノの継承者」としてサイードを読む一つの試み 【第3会場】

報告者：橋本直人（神戸大学人間発達環境学研究科）
司会：細見和之（大阪府立大学）

D. ヒュームにおける社会秩序論の展開—『政治論集』における租税・公債論との関連で 【第4会場】

報告者：川脇慎也（九州大学）
司会：壽里竜（関西大学）

1970年代フランスの国家論の回顧と展望

—ニコス・プーランザスとアンリ・ルフェーヴルの国家論の検討を通じて 【第5会場】

報告者：平田周（東京外国語大学総合国際学研究科 博士課程）
司会：斉藤日出治（大阪産業大学）

-----13:00~15:00 セッション-----

I モイシェ・ポストン理論によるマルクス新解釈の可能性——『時間・労働・社会』の拓く次元——

【第1会場】

世話人(司会)：梅森直之(早稲田大学)
報告者：白井聡(文化学園大学)、野尻英一(早稲田大学)
討論者：内田弘(専修大学名誉教授)、的場昭弘(神奈川大学)

J 承認論の現在—福祉・労働・承認の社会理論

【第2会場】

世話人：田中拓道(一橋大学)
報告者：日暮雅夫(立命館大学)、田中拓道(一橋大学)
討論者：加藤泰史(一橋大学・非会員)

K グローバルヒストリーと思想史の位置——G. アリギ『北京のアダム・スミス』を手がかりに——

【第3会場】

世話人(司会)・討論者：中山智香子(東京外国語大学)
報告者：秋田茂(大阪大学・非会員)、土佐弘之(神戸大学・非会員)

L アメリカ政治思想の再検討

【第4会場】

世話人(司会)：宇野重規(東京大学)
報告：石川敬史(東京理科大学)、片山文雄(東北工業大学、非会員)
討論：田中秀夫(京都大学)

-----15:10~17:10 セッション-----

M マルクス主義の展開——オーストリア・マルクス主義民族理論とユダヤ・ナショナリズム

【第1会場】

世話人：太田仁樹(岡山大学)
報告者：鶴見太郎(日本学術振興会海外特別研究員・ニューヨーク大学)
討論者：西村木綿(京都大学大学院)

N 「一般意志」再考

【第2会場】

世話人：鳴子博子(岐阜聖徳学園大学)
司会：宇野重規(東京大学社会科学研究所)
報告者：関谷昇(千葉大学)・梅田百合香(桃山学院大学)
討論者：仲正昌樹(金沢大学・非会員)・鳴子博子(岐阜聖徳学園大学)

O ドイツ社会国家をめぐる諸思想

【第3会場】

世話人：岸川富士夫(名城大学教授)
報告者：桜井健吾(南山大学名誉教授)、保住敏彦(愛知大学名誉教授)、岸川富士夫
討論者：奥田隆男(名古屋外国語大学教授)

P 野蛮と啓蒙—経済思想史からの接近

【第4会場】

世話人：田中秀夫(京都大学)
報告者：松森奈津子(静岡大学)、古家弘幸(徳島文理大学)

討論者：渡辺恵一（京都学園大学）

○学会事務局からの連絡とお願い

本年度大会プログラム・報告集、2012年度年報（第36号）をお送りいたします。また大会参加確認用ハガキ、大会懇親会および弁当注文用振込用紙もあわせて発送させていただきます。

◆ 会費納入のお願い

まだ納入されていない方は、同封の振込用紙を用いてお振込みくださいますようお願いいたします（お振込みと事務処理が前後する場合があります）。学会費は一般会員 9,000 円、非定職会員（大学院生・非常勤講師・退職者等）6,000 円です。納入超過の場合は来年度に繰越させていただきます。

◆ 印刷物の配布について

大会中、報告等で印刷物の配布をされる方は、各自製作の上、報告会場まで直接ご持参ください。受付では一切のコピーをいたしません。ご協力くださいますようお願いいたします。

◆ 大会報告集およびプログラムのホームページ掲載

本年度も大会報告集をPDF形式で学会ホームページに公開しております。その他、大会に関する最新情報も学会のホームページで公開しております。社会思想史学会のホームページ URL は <http://shst.jp> です。

◆ セッション報告書提出のお願い

セッションを良好に運営するためにさしあたり、今年度のセッション世話人に、大会後に報告書を提出してもらうようお願いすることが2010年度総会で承認されました。参加人数概数などをニューズレターに、またホームページ掲載用に4000字以内での報告書の作成をお願いいたします。後者の締め切りは1月末日となっております。御協力よろしくお願いたします。

◆ 『社会思想史研究』バックナンバーの割引販売

『社会思想史研究』第28号、第29号、および第30号を大会当日に割引販売いたします。一部につき950円です。また、2012年度末まで郵送でも販売いたします（メールで事務局宛にお申し込みください）。この場合は、一部につき950円＋郵送・梱包費200円です。お手許にない方はこの機会をぜひ御利用くださいますようお願いいたします。各号の詳しい内容については学会ホームページをご覧ください。

○大会開催校からの連絡とお願い

◆印刷物の配布について

大会中、報告等で印刷物の配布をされる方は、各自製作の上、報告会場まで直接御持参ください。
期間中、受付では一切のコピーをいたしません。

- ◆10月27日（土）の懇親会は午後7時より、一橋大学マーキュリーホールにて開催されます。懇親会費は5,000円です。参加される方は、大会参加確認用ハガキの該当箇所をチェックの上、10月12日（金）までにご投函ください。また代金は以下の大会開催校郵便貯金口座に、同封した振込用紙で10月12日（金）までに御入金ください。

郵便振替口座

口座番号：00190-2-283108

名義：社会思想史学会一橋大学大会実行委員会

他行からの振込みの場合は、

ゆうちょ銀行 0一九（ゼロイチキュウ）店 当座 口座番号 0283108

◆昼食（弁当予約）について

ご希望の方には開催校側で10月27日（土）と28日（日）の昼食用として弁当を御用意いたします。価格は各1,000円です（税込み、お茶がついています）。ご希望の方は振込用紙の通信欄の該当箇所をチェックし、合計金額を上記の口座に、同封した振込用紙で10月12日（金）までに御入金ください。

したがって、「郵便振替（口座名義：社会思想史学会一橋大学大会実行委員会）」への振り込み金額は

1,000円（1食のみ、懇親会不参加）

2,000円（2食のみ、懇親会不参加）

5,000円（弁当なし、懇親会参加）

6,000円（1食、懇親会参加）

7,000円（2食、懇親会参加）、のいずれかになります。

◆大会受付

大会受付は、10月27日（土）東一号館2階フロアになります。

参加者はまず、こちらの窓口で受付をしてください。